

2024年12月17日

株式会社 聚楽

創業 100 周年を迎えた聚楽(じゅらく)
東京・上野に『新・西郷丼』登場
～鹿児島食材にこだわってリニューアル～

酒亭じゅらく 上野店

ホテルやレストラン事業を展開する株式会社 聚楽（本社：東京都千代田区、取締役社長：加藤治、以下「当社」）は、2024年3月10日に創業100周年を迎えました。かつて上野西郷像下で営業していた伝説の巨大レストラン「聚楽台（じゅらくだい）」にて提供していた「西郷丼」を創業100周年記念にリニューアル。鹿児島食材に絞り込んだ『新・西郷丼』として生まれ変わりました。

取材をご希望の方は株式会社聚楽 広報担当：堀越
info@hotel-juraku.co.jp までお問い合わせください。



■『新・西郷丼』のこだわり

- ◆西郷さんのキャラクター焼き印入りのオリジナルさつま揚げ。
 - ◆鹿児島県民のソウルフード「さびなご」を唐揚げにして食べやすく仕上げました。
 - ◆黒豚角煮を自家製の甘ダレで煮込みました。柔らかいのに歯切れがよく肉汁が豊富です。
 - ◆「さつま純然鶏もも肉」の岩塩焼きはレモンを絞ってさっぱりとお召し上がりください。
- ※提供時間は11:30～17:00です。※1日限定10食です。

■上野と聚楽

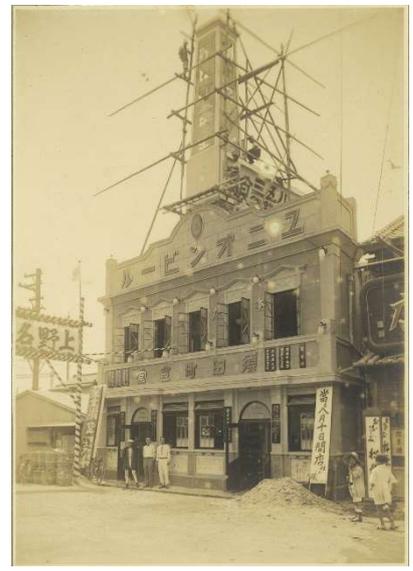
1923（大正 12）年 11 月当社創業者加藤清二郎（25 歳）は東京・上野公園の西郷銅像前に立ち、9 月 1 日に発生した関東大震災で焼け野原となっていた上野を眺めていた。前年から構想していた食堂事業を今こそ帝都復興に役立てようと、翌 1924（大正 13）年 3 月 10 日東京神田に簡易洋食「須田町食堂」を開業します。三銭五銭八銭の均一価格、入りやすい店構え、須田町食堂へ行けば気軽にハイカラなカツカツやライスカレーが食べられるとたちまち東京市民の話題となりました。



1923 年震災直後の西郷像



1924 年 3 月須田町食堂開店



1925 年 8 月上野営業所開店

1931（昭和 6）年から企業や学校、工場などの給食事業へも参入し戦中の 1943（昭和 18）年には最大 89 店舗にまで拡大するも 1945（昭和 20）年 8 月 15 日残った店はわずかに 5 店。

1959（昭和 34）年 10 月加藤清二郎は再び西郷銅像前から上野の街を眺めていた。直下には彼の経営する店が建設されている。以降半世紀近くにわたり多くのお客様に愛されつづけた伝説の巨大レストラン上野「聚楽台」です。和洋中にお寿司まで 200 品近い豊富なメニューを取り揃え「西郷丼」も早い時期から提供されていました。2004 年創業 80 周年を機に内容を一新、2008 年 4 月聚楽台閉店後もアメ横入口にある系列店「酒亭じゅらく上野店」が引き継ぎ、販売を継続しています。



上野・聚楽台（1990 年代）



創業 80 周年記念の西郷丼

◆酒亭じゅらく 上野店

【住所】 東京都台東区上野 6-11-6

【TEL】 03-3831-9640

【URL】 <https://syutei-juraku-ueno.owst.jp/>



■会社概要

株式会社 聚楽 (じゅらく)

1924 (大正 13) 年 3 月関東大震災の爪あとと残る東京神田須田町の一角に簡易洋食「須田町(すだちょう)食堂」のノレンを掲げたのが始まり。1928 (昭和 3) 年開業「須田町食堂上野第 2 営業所」は「レストランじゅらく上野駅前店」として今も営業中。1959 (昭和 34) 年上野・西郷像下に伝説の巨大レストラン「聚楽台」オープン。1962 (昭和 37) 年、上越線列車食堂営業への参入し上越新幹線開通後も車内販売事業 (2011 年撤退) を手掛ける。現在は都内を中心にレストラン 36、リゾート 4・ビジネス 3 のホテルを運営している。2024 年 3 月 10 日 創業 100 周年を迎えた。

【創業】 1924 (大正 13) 年 3 月 10 日

【資本金】 1 億円

【代表】 取締役社長 加藤 治

【住所】 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 4 番地 龍名館本店ビル 9 階南

【従業員】 正社員 570 名/パートタイマー450 名 (2024 年 4 月時点)

【事業内容】 都市ホテル・リゾートホテル・各種レストラン

【URL】 <https://juraku.com/>

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 聚楽 (じゅらく)

広報担当：堀越 info@hotel-juraku.co.jp